

研究課題名「小児、思春期・若年成人における同種造血細胞移植後閉塞性細気管支炎症候群のリスク因子の解析」に関する情報公開

1. 研究の対象

1988年1月1日から2015年12月31日まで名古屋大学医学部附属病院小児科で同種造血細胞移植を受けた受けられた方で、慢性移植片対宿主病（GVHD）を発症した方です。

2. 研究背景・意義・目的・方法・研究期間

同種造血細胞移植は多くの血液疾患で根治療法でありその合併症を克服することは重要です。移植後晩期合併症および慢性GVHDの一つである閉塞性細気管支炎症候群（BOS）は致死的な合併症で早期診断・治療が開発されておらずその病態も不明です。また小児、思春期・若年成人における移植後BOS発症の実態調査は世界的にも少数しか報告されていません。同種造血細胞移植後BOSの臨床的特徴を後方視的に検討するとともに新規疾患マーカーを確立しようとするのが、本研究の目的です。研究期間は生命倫理審査の実施承認日から2021年3月31日までを予定しています。

3. 研究の方法、研究に用いる試料・情報の種類

臨床情報（年齢、性別、身長・体重、原疾患とその治療内容、呼吸機能検査、画像検査、疾患予後など）と疾患マーカー候補の検査結果などを集計して、統計学的手法を用いて検討します。過去のデータを調べる研究であるため、新規での血液などの検体採取や医療面接などは行いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、解析終了後または学会・論文での発表後はデータを削除できないことがあります。

照会先：

名古屋大学医学部附属病院小児科

川島 希

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2294 FAX 052-744-2974